

「木造平家建住宅」課題ループリック評価表

図面名	平面詳細図	出席番号 氏名		
		評価尺度		
No.	評価観点	評価 A (点)	評価 B (点)	評価 C (点)
1	下書き線・基準線	下書き線を極細線で正確に作図した上に、基準線（一点鎖線）を細線で丁寧に作図できている。	下書き線を極細線で正確に作図できていなかったり、基準線が不正確、丁寧に欠ける箇所がある。	下書き線が太く目立っている。基準線も丁寧に作図できていない。
2	柱・間柱	基準線からの振り分けが正確で、縮尺に応じた大きさの線の太さ（極太線）で作図できている。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた線の太さ（極太線）で作図できていない箇所がある。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた線の太さ（極太線）で作図できていない。
3	壁（内側・外側）	基準線からの振り分けが正確で、縮尺に応じた大きさの線の太さ（外側：極太線、内側：太線）で作図できている。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた大きさの線の太さ（外側：極太線、内側：太線）で作図できていない箇所がある。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた大きさの線の太さ（外側：極太線、内側：太線）で作図できていない。
4	開口部	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができている。	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができていない箇所がある。	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができていない。
5	家具・衛生機器等の見えがかり	正確な大きさで、細線の実線・破線・点線を使い分けて丁寧に作図できている。	正確な大きさでない箇所や、一部細線の実線・破線・点線を使い分けせずに作図している箇所がある。	不正確な大きさで、細線の実線・破線・点線を使い分けができていない。
6	室名・寸法等	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい室名等の記載になっている。	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いてなかったり、丁寧にわかりやすい室名等の記載になっていない箇所がある。	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いていなかったり、丁寧にわかりやすい室名等の記載になっていない。
7	課題全体の完成度	全体のレイアウトが良く、用紙の汚れもなく、紙面全体が美しく仕上げられている。	全体のレイアウトが片方に寄っていたり、部分的に汚れており、美しさへの配慮が不足している。	全体のレイアウトが悪く、用紙の汚れが目立ち、美しさへの配慮が明らかに欠けている。
小計				
備考				合計